

- 守屋てるひこ市政活動報告 -

# てるちゃんがいく

世界が憧れるまちに向かって



活動報告書

2022年8月発行

発行編集

守屋てるひこ事務所

住所：小田原市教達三二七-1  
電話：0465439918  
〒190-0101 小田原市教達三二七-1  
イセトヨビル2階

## 2 てるちゃんの取り組み! 小田原がスマートシティに!

総事業費 1億6,945万円

デジ田交付金に続く快挙!  
スマートシティ推進事業に採択されました!

### 【スマートシティ】ってなに?

都市のかかえる問題について、  
デジタル技術を使って最適化を図れる都市のこと



### スマートシティでできること

混雑情報を把握する  
センサーの導入



観光・災害情報を  
アプリや電子看板  
で情報発信



移動をもっと楽に!  
Maasの導入



Maasとは…交通手段を一つのサービスに統合し、経路検索から支払いまでを継ぎ目なくつなぐ概念

## 1 てるちゃんの取り組み!

デジタル田園都市国家  
構想推進交付金 採択額が

総事業費 4億1,958万円

全国市町村

# 1位に!

現在、事業者選定計画作り等の  
作業を急ピッチで進めています!

### 【デジタル田園都市国家構想】ってなに?

デジタル技術を活用して、地方を活性化し持続可能な  
経済社会を目指すことです。

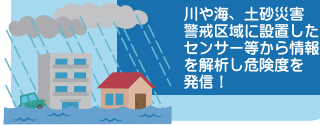
内閣官房主催 夏のデジ田甲子園  
神奈川県代表にも選ばれました!



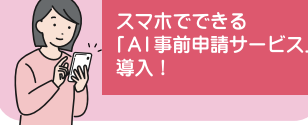
### デジ田交付金事業でできること

【ゼロカーボン・デジタルタウン】

災害情報を詳しく!  
早く!届ける!



市役所で「書かない窓口」  
待ち時間短縮!



小田原デジタル  
ミュージアム



情報連携でもっと便利に!

デジ田交付金各事業 つながる スマートシティ事業

それぞれが連携することでこれまでできなかったこと不便なことが  
デジタルの技術でどんどん可能になります!

## 3 てるちゃんの取り組み! ふるさと納税寄付受入額が

この4年で3倍の伸び!



返礼品掲載件数を580品に増加  
新規事業者開拓と追加の継続

### 市長からのメッセージ

2020年(令和2年)5月に、第23代小田原市長に就任して、早くも任期の折り返しを迎え、3年目に入りました。市長に就任した時が、新型コロナウイルスの最初の緊急事態宣言中であり、今もなお、収束の気配が見えない中で、市政の最重要課題は、依然としてコロナ対策であります。

この間、「生活者を守る」、「事業者を守る」、「教育を守る」、「地域医療を守る」、をコロナ対策の4本柱に掲げて対策を講じてまいりました。

その一方で、将来への道標もしっかりつくってまいりました。2021年3月には、市政の最重要課題にテーマを絞って、2030ロードマップを策定いたしました。それを発展させる形で、今年度スタートとし、2030年までを計画期間とする、第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」をスタートさせました。計画の根幹は、「豊かな環境の継承」、「生活の質の向上」、「地域経済の好循環」です。それを推進するエンジンとして、「行政経営」、「公民連携・若者女性活躍」、「デジタルまちづくり」を掲げました。

新総合計画に掲げた小田原市の将来都市像「世界が憧れるまち“小田原”」の実現に向けて、これからも全力で市政の発展に力を注いでまいります。



LINE  
公式アカウント

Facebook

お友達 & チャンネル登録  
お願いします!

©守屋てるひこ事務所  
Printed in Japan  
株式会社コバヤシ